



スポーツの秋 体を動かし、交流を深める



# 各地区運動会&町内保育所運動会開催

町内各地区で運動会（只見：只見地区いきいき健康づくりフェスタ、朝日：朝日ふれあい運動会、明和：明和地区町民大運動会）が9月15日に開かれ、競技を通して住民同士の交流を深めました。

また、町内三保育所の運動会が開かれ、保護者や祖父母、地域の皆さんの声援を受けて、保育所児童が精一杯自分の競技を頑張りました。

## ★只見地区いきいき健康づくりフェスタ



## ★朝日ふれあい運動会



## ★明和地区町民大運動会



## ★只見保育所 (9月25日)



## ★朝日保育所 (9月26日)



## ★明和保育所 (9月27日)



## インターンシップの学生も手を振りました SATONOが只見線に入線

JR東日本が所有する観光列車「SATONO(さとの)」が8月23日に只見線に入線し、会津若松駅～只見駅間を運行しました。

当日の只見駅には、町民や列車ファンの他に、只見町でインターンシップ活動を行っている埼玉工業大学の学生が集まり、お出迎え、お見送りをしました。

紅葉シーズンの只見線は、臨時列車や特別列車が走る機会が増えますので、見かけた際にはぜひ手を振って歓迎してください。



▲只見駅に到着したSATONOに手を振る皆さん

## 一戦必勝を誓う選手を激励

# 市町村対抗県野球・ソフトボール 只見町チーム激励会



▲激励会で士気を高めた両チーム（中央左：馬場秀明ソフトボールチーム監督、中央右：目黒貴裕野球チーム監督、右から2番目：横山大野球チーム主将）

市町村対抗福島県軟式野球・ソフトボール大会に出場する只見町チームの激励会が9月2日に開かれ、両チームの監督と野球チームの主将が出席しました。

激励会では、鈴木スポーツ協会長のあいさつの後、両チームの監督は「只見町の野球熱を絶やさぬよう一戦必勝の気持ちで戦ってきます」と話しました。最後に渡部町長から、「スポーツ少年団を始め、子どもたちに、皆さんの頑張りが受け継がれていると感じています。最後まで諦めずに頑張ってきてください」と激励の言葉が送られました。

## 昨今の免許取得事情にも対応 第3分団第2機動班 消防ポンプ車更新

第3分団第2機動班の消防ポンプ車が更新になりました。

昨今の「AT限定免許」取得者が拡大傾向にあることも考慮し、今回更新された消防ポンプ車はAT(オートマチックトランスミッション)仕様となっております。



▲納車されたポンプ車

## 豊作祈願の秋まつり 町内各地で 祭礼行事が行われました

豊作祈願の秋まつりが、9月5日に町内の各地で行われ、のぼり旗やお神輿などで賑わいました。

沖・宮前まつりでは、子ども神輿が威勢よく繰り出し、集落内を盛り上げました。

また、明和地区祭礼ソフトボール大会が9月8日に開催され、4チームが出場しました。試合は総当たり戦で行われ、坂田チームが優勝しました。



▲お神輿を一生懸命に担ぐ子どもたち



▲優勝した坂田チーム



▲熱い試合が繰り広げられました

## 9月かるがもクラブ 十五夜を楽しみました

かるがもクラブが9月20日に行われ、5組の親子が参加しました。

今回のかるがもクラブは、身体あそびの後、壁に掛けられた三方の絵にお月見団子に見立てた袋を飾り付けたり、野菜などのおもちゃをお供えするなど、親子で十五夜の雰囲気を感じることができました。



▲始めに身体あそびで親子のスキンシップを行いました



▲お月見団子を飾り付ける参加者



▲参加者と民生児童委員の皆さんでお月見団子の前で記念撮影をしました

## 長年の功績が称えられました 五十嵐拓さんが 旭日単光章を受章

元只見町議会議員の五十嵐拓さん（黒谷）が高齢者叙勲（旭日単光章）を受章され、9月5日に伝達が行われました。

五十嵐さんは、只見町議会議員を平成12年4月から平成24年4月までの通算3期12年にわたり務め上げ、地方自治の振興、発展に寄与されました。また、平成22年4月から平成24年4月までの2年間は只見町議会議長として、円滑な議会運営に尽力されました。



▲高齢者叙勲を受けた五十嵐さん

## 田んぼの生き物や農業について学びました 只見小学校「水の郷学習会 in 只見」開催



▲休耕田に入り、生き物を探す子どもたち

只見町土地改良区主催の「水の郷学習会 in 只見」が9月13日に開催され、只見小学校の全校生徒が滝神社付近の休耕田で水生生物の調査をしました。また、5、6年生はほ場整備について福島県や土地改良区、ほ場整備推進委員長から話を聞きました。

今回の調査ではアクアマリンふくしまから講師をお招きし、子どもたちが見つけた20種類以上の生き物について解説していただきました。

子どもたちは「只見町にたくさんの生き物がいることが分かりました」と話しました。

## 関東地域の子どもたちが只見の自然を体験 只見町キッズスポーツ体験&交流イベント

関東地域（東京・埼玉）の小学生がスポーツや自然体験に只見町を訪れる「只見町キッズスポーツ体験&交流イベント」が9月21日から23日に開かれました。関東地域からの子どもたちと町内参加の子どもたちを合わせ、約20人が参加しました。

イベントでは、多目的活性化広場（亀岡）で目一杯体を動かしたり、布沢地内のビオトープで自然に触れたりしました。また、特別講師に元東京ヤクルトスワローズ投手の矢野和哉氏が参加し、子どもたちは、充実した3日間を過ごしました。



▲矢野氏からボールの投げ方を教わる子どもたち

## 福島県農業十傑に選ばれる

# 佐藤泉太さん 福島県農業賞 受賞

第65回福島県農業賞（農業十傑）表彰式は9月2日に行われ、町内から佐藤泉太さん（入叶津）が農業経営改善部門に選ばれました。

只見町産米の認知度を向上し、地域農業の維持につなげたいとの思いから自家産米をつかったどぶろく製造に取り組んでいることや、各地の物産展への出展などを通して町のPRを積極的に行っていることが今回の受賞に繋がりました。

佐藤さんは、「皆さんの協力があっただけだ賞です。皆さんに感謝するとともに、これからも応援をお願いします」と話しました。



▲受賞報告をした佐藤さん

## 自分たちの集落は、自分達で守る

# 布沢自主防災組織が発足



▲消防団員からポンプの使い方を教わる住民

布沢集落は自主防災組織を編成し、発足式が9月23日に、布沢地内川の広場で行われました。

布沢集落は集落外での就労者が多く、平日は集落内の消防団員が一人もいない状態になり、有事の際に迅速な対応をするために自主防災組織を編成しました。

当日は、発足式の他、万が一の有事に備えた消防ポンプの実技訓練が行われました。

## 献血回数70回以上の功績を称える

# 島谷裕彦さん 銀色有功章を受章

島谷裕彦さん（黒沢）が、献血回数70回に到達した方に送られる「銀色有功章」を受章し、日本赤十字社から表彰状と記念品のガラス杯が送られました。

日本赤十字社は、継続的に献血へご協力された方へ感謝とその功労に対して、表彰（顕彰）を行っています。献血回数の確認は献血カードまたは献血アプリで確認できます。

町内では、年に2回、献血車での献血が行われています。次は10月23日（水）を予定しています。ご協力をお願いします。



▲銀色有功章を受章した島谷さん